

ホンマタカシ、宇佐美雅浩、大垣美穂子、ジル・スタッサールなどが参加。
佐渡島の玄関口両津港から徒歩8分の両津夷商店街を中心に、街歩きをしながらアート体験。

さどの島銀河芸術祭プロジェクト2022 開催のお知らせ

会期：2022年8月7日(日)～10月9日(日)

さどの島銀河芸術祭実行委員会（所在地：新潟県佐渡市）は、佐渡島の自然や歴史、点在する民話や伝承を掘りおこし、島内外からの刺激とともに新しい創造空間をつくり出し、「銀河」のようなきらめきや美的価値観を創造していくことを目的に「さどの島銀河芸術祭プロジェクト2022」を開催いたします。今年は、佐渡島の玄関口両津港より徒歩8分ほどのところにある両津夷商店街の空き店舗を中心に作品展示をおこないます。お客様には、両津の街に点在するアート作品をたどりながら街歩きをしていただくことで、街中で新しい発見や交流、また多くの方に地域のことをよく知ってもらう一助になればと考えています。

さどの島銀河芸術祭の過去作品も展示されます。よろしければ、ぜひご取材をご検討ください。

■名称：さどの島銀河芸術祭プロジェクト2022

■理念・テーマ：「過去と未来の帰港地」

■開催期間：2022年8月7日(日)～10月9日(日) [会期総計：64日間]

■参加アーティスト（順不同・敬称略）

ホンマタカシ、宇佐美雅浩、大垣美穂子、ジル・スタッサール、ポール・マロ、Kenta Maruyama、前田優作、テリー・ライリー、早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室+小岩金網株式会社、できやよい、寺田佳央、イーサン・エステス、佐渡アール・ブリュット、生活文化研究フォーラム佐渡 ほか

■会場：佐渡島内複数箇所

両津夷商店街、両津地区、金井地区、相川地区にてアーティストの作品展示やイベント、アールブリュット展を行います。

両津地区空き店舗、元舟小屋、岩首地区棚田、相川地区大間港などが会場となります。

■時間：10:00-17:00 ※会場によって時間が異なります。入場制限あり。

■作品鑑賞パスポート：現在Peatixにてパスポート引換券を販売中。

一般（前売 2,000 円/ 当日 2,500円 ）高・専・大（前売 1,500 円/ 当日 2,000 円 ）

島民 一律1,000円

障害者手帳をお持ちの方・中学生以下は無料

■主催：

さどの島銀河芸術祭実行委員会／一般社団法人 佐渡国際芸術推進機構／アース・セレブレーション実行委員会／佐渡市

- ・総合プロデューサー：吉田盛之
- ・アドバイザー：榎木 野衣／宇川 直宏／小川 弘幸
- ・インディペンデント・キュレーター：菊田 樹子
- ・ART CAMPディレクター：山井梨沙（株式会社スノーピーク）
- ・DOMMUNE ストリーミングディレクター：宇川直宏

■公式サイト：<https://sado-art.com/>

■全てのリンク：<https://lit.link/sadogalaxy>



【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人 佐渡国際芸術推進機構 TEL 0259-67-7657 FAX 0259-67-7587

E-mail info@sado-art.com

さどの島銀河芸術祭プロジェクト2022 関連アートイベント、ツアーなど

■「Manda-la in Sado」写真家 宇佐美雅浩の写真撮影

撮影日：2022年9月10日(土) 予備日9月11日(日)

場所：岩首地区棚田

内容：写真家 宇佐美雅浩氏が、佐渡島 岩首地区の棚田で写真作品「Manda-la in Sado」を島民総勢約300人を集めて撮影します。

作品について：宇佐美氏の「Manda-la」とは、仏教絵画の曼荼羅（まんだら）にみられる中心人物を中央に配し、その人物の世界観を表現するシリーズ作品。「Manda-la in Sado」では、中心に世阿弥に扮した能の指導者を据え、海から続く稲穂の実った金色の棚田に、伝統芸能の継承者が帆を上げた和船に乗って上陸してくる様子を表現する。佐渡は、文化が宝船に乗って運ばれてきた島である。この作品を世界農業遺産の構成場所の岩首昇竜棚田で撮影し、現在も佐渡で継承されている農業、芸能とを融合し、それらが共にこれからの未来へと続く礎となる作品とする。

■誰も排除しない「まぜこぜの社会」を目指して 東ちづるさんの講演会

日時：2022年10月（日程調整中）

場所：アミューズメント佐渡（予定）

入場料：無料

内容：障がい者も健常者もマイノリティの方も誰もが自分らしく生きられる「まぜこぜの社会」を目指して活動する東ちづるさんの講演を行います。

■シンポジウム

日時：2022年9月18日(日) 13:00～（予定）

場所：TAACHI（両津夷53-1）

内容：これまでのさどの島銀河芸術祭と未来の展望について（仮）

■アート・ツアー

日時：2022年8月～11月の会期中に複数回。

場所：佐渡島内

参加料：調整中

内容（変更になる場合があります）：

8月20日 芸術祭プロデューサー吉田モリトと巡る佐渡

8月27日 自然をめぐる想像力の旅

9月17,18日 よくばり+秘物巡りツアー（1泊2日）

9月23日 芸術祭プロデューサー吉田モリトと巡る佐渡

10月1,2日 能舞台+秘物巡りツアー（1泊2日）

10月10日 民話・伝説ツアー

10月22,23日 よくばり+民話・伝説ツアー（1泊2日）

11月3日よくばりツアー

■アート・キャンプ

日時：2022年11月頃（日程調整中）

場所：調整中

内容：伝統芸能と現代舞踊を融合させた舞台をキャンプをしながら楽しむイベント。詳細未定。

■インターネット動画配信：さどの島銀河芸術祭チャンネル（さど銀チャンネル）

開催期間：2022年4月～2023年3月配信

内容：島内外のアーティストや研究者が、アートや民俗学的視点で佐渡の魅力を見つめ直す番組をYouTubeのさどの島銀河芸術祭チャンネルにて配信。また地元のケーブルテレビ局サドテレビとも連携し月2回のペースで放映する。

過去と未来の帰港地

さど島の 銀河芸術祭

プロジェクト 2022

Sado Island Galaxy Art Festival

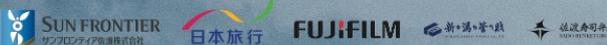
8.7(日)-10.9(日)

主催 | さど島銀河芸術祭実行委員会 / 一般社団法人佐渡国際芸術推進機構 / アース・セレブレーション実行委員会 / 佐渡市
総合プロデューサー | 市田 健之
アドバイザー | 藤木 野衣 / 宇川 直史 / 小川 弘幸
インディペンデント・キュレーター | 菊田 樹子

助成 |  令和4年度 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創生事業

公益財団法人 福武財団 2022年度 研修助成「アートによる地域振興助成」

公益財団法人 三菱UFJ 信託地域文化財団

協賛 | 

協力 | JA佐渡 / 早稲田大学 古谷誠章、藤野由梨研究実習生 / 小岩金剛株式会社 / 株式会社 Perch / ヒューマン・キャピタル・コンサルティング株式会社 / 尾形園造株式会社 / ulcloworks Inc. / 株式会社 辻藤組
後援 | 新潟日報社 / 佐渡汽船株式会社 / 一般社団法人佐渡観光文化機構 / 株式会社 ゴールデン佐渡 / サドアイビ / BSN 新潟放送 / NST 新潟総合テレビ / TeNY テレビ新潟 / 朝日新聞新潟総局 / 読売新聞新潟支局 / エフエムラジオ新潟

* snow peak 

お問い合わせ | さど島銀河芸術祭 総合案内
Tel.050-5305-5135 (10:00-17:00) <https://sado-art.com>

